

5月 がん研究支援のチャリティーラン  
18日 生命の駅伝を応援



◀役場本庁に到着したランナーたち

生命の駅伝は、がん研究を支援するための募金活動を目的に、ランナーが啓発を行いながら県内各所を走る駅伝です。三重北医療センター菰野厚生病院をスタートしたランナーたちは役場本庁に到着し、出迎え式と募金箱の受け渡しを行った後、次の目的地である三重北医療センターいなべ総合病院へ出発しました。

5月 鈴鹿の山を舞台にしたトレラン大会を開催  
24日 Komono Four Peaks Trail



◀岩場に挑むゲストランナーの谷川照樹選手

鈴鹿山脈の御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳、国見岳を舞台にしたトレイルランニング大会「Komono Four Peaks Trail」が町70周年記念事業の一環として開催され、全国から約200名のランナーが参加しました。ゴール地点のFREE AND EASY CAMP RESORTでは、町のPRパートナーである「スーパー登山部」のライブや、キッチンカー、ワークショップなどのイベントが開催され、来場者たちはゴールテープを切るランナーへ声援を送りながら、イベントを楽しんでいました。



5月 初めての講演会を地元で開催  
16日 菰野江名さん講演会



◀講演会の様子。写真左が菰野さん

菰野町出身の菰野江名さんが町70周年記念事業の一環として図書館で講演会を行いました。菰野さんは裁判所書記官として働きながら執筆した『つぎはぐ、さんかく』で第11回ポプラ社小説新人賞を受賞し、作家デビューしました。講演会で菰野さんは、「仕事と子育てを両立しながらの執筆は大変な時もありますが、楽しみながら取り組んでいます」と語りました。講演会後にはサイン会が行われ、一人ひとりと和やかに言葉を交わしていました。

5月 出水期に備えて土のうを作成  
17日 水防訓練を実施



◀協力しながら土のうを作成する参加者たち

滝川河川敷で水防訓練を実施し、区の代表者、消防団員、協定締結事業者、町職員、消防職員ら約350人が参加しました。参加者たちは土のう約750個を作成し、その後、消防職員による改良積み土のう工法の実演が行われました。作成した土のうは各区に持ち帰り、大雨など災害時の浸水対策に活用されます。

4月 菰野町の町名の由来にもなった秋の味覚  
30日 マコモの田植えを実施



◀間隔が均等になるよう注意しながら丁寧に苗を植える参加者たち

わかば作業所によるマコモの植え付け体験を千草区の水田で行いました。これは、障がい者施設利用者が農業に取り組む農福連携事業の一環として実施したもので、機械化が困難なマコモの生産を担うことで、障がいのある方の就農促進を図るとともに、町の特産品であるマコモの生産量の増加を目指す取り組みです。参加者たちは1株ずつ丁寧にマコモの苗を植えていました。今後も除草や葉刈り、収穫等の作業に引き続き携わる予定です。

5月 ウォーキングから始める健康づくり  
16日 春のウォーキング大会



◀役場本庁からスタートする参加者たち

役場本庁をスタート地点として、春のウォーキング大会を開催しました。当日は、約150名が参加し、春の穏やかな気候の中、千種城跡や千種神社を巡る約10キロのロングコースか、約5キロのショートコースを選択しました。参加者たちは自身の体力にあわせてそれぞれのペースでウォーキングを楽しんでいました。

4月 永年の功績を称えて  
29日 春の叙勲 瑞宝双光章を受章



◀瑞宝双光章を受賞した坂野さん

春の叙勲が発表され、坂野信彦さん(菰野第二区)が瑞宝双光章を受章しました。坂野さんは昭和54年から現在に至るまで永年にわたり園医や学校医を務めており、その功績が認められて今回の受章となりました。坂野さんは「今まで続けてきたことが評価され大変光栄です。これからも自身の健康に気を付けながら、できる限り仕事を続けていきたいです」と語りました。

4月 世代を超えてサッカーを楽しむ1日  
29日 サッカーまつり



◀ゴールを狙う白いユニフォームの四日市中央工業高校の選手

第13回サッカーまつりが大羽根サッカー場で開催されました。当日は、午前中に小学生と中学生のミニゲームが行われ、午後からは四日市中央工業高等学校と兵庫県の芦屋学園高等学校の試合が実施されました。全国大会への出場実績もある2校による白熱した試合に、観客たちは熱心に観戦していました。イベントの最後には、町内サッカークラブのOBなどによる親善試合が行われ、子どもから大人までサッカーを楽しむ1日となりました。